

第7回 八王子市景観計画策定等検討会議 参考資料

- 1．まちなみ調査結果概要
- 2．景観市民懇談会での主な意見

平成21年8月24日

1. まちなみ調査結果概要

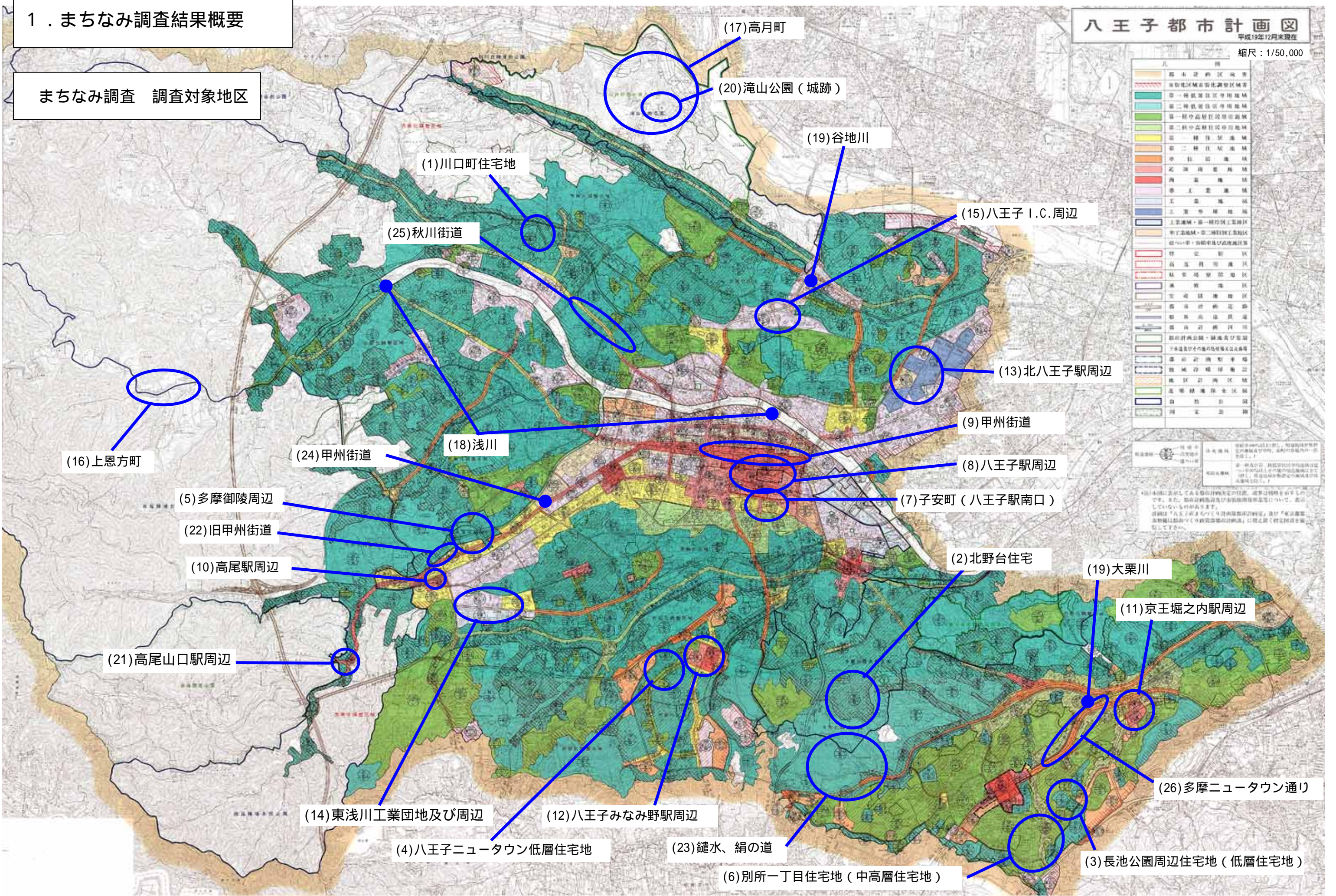
まちなみ調査 調査対象地区

八王子都市計画図

平成19年12月末現在

縮尺：1/50,000

凡 例	
[色]	都市計画区域
[色]	都市計画区域外
[色]	第一種低層住宅地域
[色]	第二種低層住宅地域
[色]	第一種中高層住宅地域
[色]	第二種中高層住宅地域
[色]	第一種住居地域
[色]	第二種住居地域
[色]	準住居地域
[色]	近郊緑地地域
[色]	商業地域
[色]	準工業地域
[色]	工業地域
[色]	工業専用地域
[色]	工業専用地域・第一種特別工業地域
[色]	準工業地域・第二種特別工業地域
[色]	特別用途地域
[色]	特別第一種用途地域
[色]	特別第二種用途地域
[色]	特別第三種用途地域
[色]	特別第四種用途地域
[色]	特別第五種用途地域
[色]	特別第六種用途地域
[色]	特別第七種用途地域
[色]	特別第八種用途地域
[色]	特別第九種用途地域
[色]	特別第十種用途地域
[色]	特別第十一種用途地域
[色]	特別第十二種用途地域
[色]	特別第十三種用途地域
[色]	特別第十四種用途地域
[色]	特別第十五種用途地域
[色]	特別第十六種用途地域
[色]	特別第十七種用途地域
[色]	特別第十八種用途地域
[色]	特別第十九種用途地域
[色]	特別第二十種用途地域
[色]	特別第二十一種用途地域
[色]	特別第二十二種用途地域
[色]	特別第二十三種用途地域
[色]	特別第二十四種用途地域
[色]	特別第二十五種用途地域
[色]	特別第二十六種用途地域
[色]	特別第二十七種用途地域
[色]	特別第二十八種用途地域
[色]	特別第二十九種用途地域
[色]	特別第三十種用途地域
[色]	特別第三十一種用途地域
[色]	特別第三十二種用途地域
[色]	特別第三十三種用途地域
[色]	特別第三十四種用途地域
[色]	特別第三十五種用途地域
[色]	特別第三十六種用途地域
[色]	特別第三十七種用途地域
[色]	特別第三十八種用途地域
[色]	特別第三十九種用途地域
[色]	特別第四十種用途地域
[色]	特別第四十一種用途地域
[色]	特別第四十二種用途地域
[色]	特別第四十三種用途地域
[色]	特別第四十四種用途地域
[色]	特別第四十五種用途地域
[色]	特別第四十六種用途地域
[色]	特別第四十七種用途地域
[色]	特別第四十八種用途地域
[色]	特別第四十九種用途地域
[色]	特別第五十種用途地域
[色]	特別第五十一種用途地域
[色]	特別第五十二種用途地域
[色]	特別第五十三種用途地域
[色]	特別第五十四種用途地域
[色]	特別第五十五種用途地域
[色]	特別第五十六種用途地域
[色]	特別第五十七種用途地域
[色]	特別第五十八種用途地域
[色]	特別第五十九種用途地域
[色]	特別第六十種用途地域
[色]	特別第六十一種用途地域
[色]	特別第六十二種用途地域
[色]	特別第六十三種用途地域
[色]	特別第六十四種用途地域
[色]	特別第六十五種用途地域
[色]	特別第六十六種用途地域
[色]	特別第六十七種用途地域
[色]	特別第六十八種用途地域
[色]	特別第六十九種用途地域
[色]	特別第七十種用途地域
[色]	特別第七十一種用途地域
[色]	特別第七十二種用途地域
[色]	特別第七十三種用途地域
[色]	特別第七十四種用途地域
[色]	特別第七十五種用途地域
[色]	特別第七十六種用途地域
[色]	特別第七十七種用途地域
[色]	特別第七十八種用途地域
[色]	特別第七十九種用途地域
[色]	特別第八十種用途地域
[色]	特別第八十一種用途地域
[色]	特別第八十二種用途地域
[色]	特別第八十三種用途地域
[色]	特別第八十四種用途地域
[色]	特別第八十五種用途地域
[色]	特別第八十六種用途地域
[色]	特別第八十七種用途地域
[色]	特別第八十八種用途地域
[色]	特別第八十九種用途地域
[色]	特別第九十種用途地域
[色]	特別第九十一種用途地域
[色]	特別第九十二種用途地域
[色]	特別第九十三種用途地域
[色]	特別第九十四種用途地域
[色]	特別第九十五種用途地域
[色]	特別第九十六種用途地域
[色]	特別第九十七種用途地域
[色]	特別第九十八種用途地域
[色]	特別第九十九種用途地域
[色]	特別第一百種用途地域




まちなみ調査結果・各地区の現況と課題

















都市のビジョンや景観要素等を踏まえた類型	調査対象地区	調査結果	現況写真
都市計画マスタープラン・土地利用方針	住居系	(1)川口町住宅地	<p>【現況】 緑に囲まれた落ち着いた住宅地 ・生産緑地が多く、戸建て住宅と混在したのどかな落ち着いた住宅地の景観が形成されている。 ・計画的に開発された住宅地（唐松住宅）については、基盤が整い、敷地内の生垣や庭木など緑が豊かで潤いある住宅地の景観が形成されている。 ・地区内を流れる川口川沿いには遊歩道が整備され、周辺には戸建て住宅が立地し、自然景観との一体感が感じられる住宅地の景観が広がっている。 ・全体的に緑が豊かで、潤いの感じられる市街地景観が広がっている。</p> <p>【課題】 みどりとの連続性への配慮が必要 ・地区計画による最低敷地規模（120～170㎡）等が定められているが、一部では戸建て住宅のミニ開発がみられ、接道部を全て駐車場にするなど緑化があまり行われていないものもみられる。 ・また、生産緑地に隣接して宅地の裏が建ち並び、境界部の緑化や設え等、農地越しに見える景観に配慮した修景等が望まれる。</p>
	(2)北野台住宅地	<p>【現況】 一般的に緑豊かな潤いのある斜面住宅地 ・丘陵地に開発された戸建て住宅を主とした住宅地で、計画的に配置された緑地や、開発時の形態、敷地内の緑等、全体として潤いのある住宅地の景観を保っている。 ・勾配屋根の2階建て戸建て住宅が建ち並び、屋根の形状・色彩は様々なものが見られるものの、全体としてスケール感が整った落ち着いた住宅地の景観が広がっている ・よう壁の上部に生垣を設けるなど接道部の緑化が多く見られる。 市街地への眺望が開けた住宅地 ・開発地の縁辺部から、住宅地や周辺の市街地への見晴らしが開けており、眺望を楽しむことができる。</p> <p>【課題】 計画的に開発された整った基盤や緑地を活かしたまちなみづくりが大切 ・一部、建て替えに伴い接道部での駐車場設置、垂直よう壁への変更など、緑や形態意匠等まちなみの連続性が損なわれているものが見られる。 ・地区計画による最低敷地規模（150～160㎡）等定められ戸建て住宅地としての環境保全が図られているが、これに加えて、まちなみの調和に配慮した建物の形態や、接道部の設え（よう壁、生垣等）など、整った住環境・まちなみ景観を維持保全することが大切である。</p>	 <p>開発当時の形態を残す住宅地</p>  <p>建て替えの行われた住宅</p>   <p>住宅地縁辺部からの眺め （左：北野台住宅地を見下ろしたもの）</p>
	(3)長池公園周辺住宅地（多摩ニュータウン低層住宅地）	<p>【現況】 計画的に開発された基盤が整い緑豊かな住宅地 ・多摩ニュータウン内の戸建て住宅地区として開発された地区で、計画的に配置された緑地や、生垣や庭木などの接道部の緑が連続した潤いと落ち着いた住宅地の景観が広がっている。 ・建物の色彩は暖色系色相の低彩度色を基調としたものが多く、温かみのある落ち着いたまちなみを形成している。 ・緩やかなカーブの道路が多く、接道部の緑地とあわせてまちなみに心地よい印象を与えている。 ・個々の敷地内の庭木がよく手入れされ、室外機が目立たないように設置されているなど、まちなみに対する配慮がみられる。</p> <p>【課題】 整った道路基盤と緑を基調とした住宅地景観の保全 ・地区内の豊かな緑環境は、敷地内の緑地の維持管理など、個々の住民の手によって守り創出されており、まちなみに豊かな表情を与えている。 ・地区計画による緑豊かな住環境の保全や建物の色彩の配慮等のルールに加え、こうした住民主体の取り組みを維持・継承し、互いに配慮しながら庭先の緑を連続させていくなど、まちなみの魅力を高めていくことが大切である。</p>	   <p>計画的に開発された緑豊かな戸建て住宅地</p>

都市のビジョンや景観要素等を踏まえた類型	調査対象地区	調査結果	現況写真
都市計画マスタープラン・土地利用方針	住居系 (4)八王子ニュータウン低層住宅地	<p>【現況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的に開発された基盤が整い緑豊かな住宅地 八王子ニュータウン内の戸建て住宅地区として開発された地区で、計画的に配置された緑地や、生垣、庭木など接道部の緑が連続した潤いと落ち着きのある住宅地景観が広がっている。 住宅地の開発主体によって、開発単位ごとに建物のデザインや敷地の設えが異なるものの、勾配屋根の戸建て住宅、接道部の生垣や庭木の樹木等緑化されており、まち全体としての連続性、一体感のある住宅地景観が形成されている。 建物の色彩は低彩度のものが多く、落ち着いたまちなみを形成している。 周辺の中高層住宅地や商業地との境界部には緑地・緑道が配置され、閑静な佇まいが保たれている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 整った道路基盤や緑を守り、まちなみの景観としての秩序を保つこと 建設主体によって街区単位でのまとまり、デザイン的な統一性はあるものの、通りの景観としての連続性やまとまりにもう少し配慮がほしい。 地区計画による緑地環境との調和した住環境保全が図られており、街びらきが平成9年で建て替え等は見られないが、現在の良好な環境を維持継承しつつ、まちなみに配慮した住民主体の取り組みが大切である。 	 <p>計画的に開発された緑豊かな戸建て住宅地</p>  <p>緑化された歩行者専用通路</p>
	(5)多摩御陵周辺(風致地区内)	<p>【現況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 低層住宅を主とした落ち着きのあるまちなみ 戸建て住宅を主とした住宅地でまちなみの背景には多摩御陵の緑地やケヤキ並木が広がっている。 多摩御陵線沿道には、一部低層の商業店舗がみられるが、敷地にゆとりのある戸建て住宅が多く、落ち着きのある住宅地の景観が形成されている。 南浅川以南にも戸建て住宅を主とした住宅地景観が広がっているが、多摩御陵線沿道に比して小規模な戸建て住宅が多く、接道部での駐車場、無機質なブロック塀の設置など、敷地内の緑化があまり行われていないものもみられる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 周囲の豊かな緑と一体感のあるゆとりある住宅地景観の形成が大切 多摩御陵や南浅川など豊かな自然環境に囲まれた地区で、こうした地域のシンボルとなっている場所に配慮した、建物の形態意匠の整序や、敷地内の緑化等を行っていくことが必要である。 快適な生活の街路景観の充実化が必要 地区内の道路は狭隘なものが少なくなく、壁面後退や接道部の設えの工夫など、生活環境として快適なまちなみづくりを進めていくことが必要である。 	 <p>多摩御陵線沿道に立地する戸建て住宅地</p>  <p>多摩御陵線沿道に立地する商業施設</p>  <p>南浅川以南の住宅地</p>
	(6)別所一丁目住宅地(多摩ニュータウン中高層住宅地)	<p>【現況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ゆとりある空間と豊かな緑に囲まれた中高層住宅地 5F～10F程度の中高層集合住宅が集積し、敷地内にはゆとりある広場・オープンスペースが配置され、接道部にも植栽帯を確保しているものが多く、計画的に配置された緑地・公園や街路樹と一体となった、ゆとりと潤いのある住宅地景観が形成されている。 開発の単位や主体によって建物のデザインは異なるものの、建物の規模は比較的まとまりがある。 建物の色彩は暖色系色相を基調としたものが主で、落ち着いたまちなみを形成している。 低層住宅地とは生活幹線道路や街路樹、緑地等によって隔てられ、圧迫感は軽減されている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的住宅地のゆとりある住宅地との連続性、一体感の創出 近年建設が進む集合住宅や斜面地に新規開発で建設された集合住宅など、当初の団地より突出した高さ(14F以上)形態、規模のものが多くみられ、道路や起伏に富んだ地形的な条件により、ニュータウン内のまちなみの背景に目立つ存在となっている。 計画的に配置された緑地や、造成後の斜面緑地等既存の緑地を守りつつ、戸建て住宅地や周辺からの見え方等に配慮した形態意匠等の誘導が必要である。 また、地域として一体感が感じられるよう、意匠、色彩、敷地の設え・仕上げ等の整序が望ましい。 	 <p>計画的に開発された中高層集合住宅地区</p>  <p>二次開発による大規模な集合住宅</p>  <p>近年建設された高層集合住宅</p>

都市のビジョンや景観要素等を踏まえた類型		調査対象地区	調査結果	現況写真
都市計画マスタープラン・土地利用方針	住居系	(7)子安町(八王子駅南口周辺)	<p>【現況】 住宅・商業地が混在する賑わいのある景観 ・八王子駅南のとの木通り沿道には中低層(3~6F程度)の商業・業務ビルや集合住宅、戸建て住宅が混在し、比較的高密度に連続して建ち並んでいる。 ・街路樹の柵の木は大きく育ち、シンボリックな沿道景観を形成している。 ・沿道の諸施設は、壁面後退があまり行われておらず、袖看板や簡易広告物の掲出が多くみられ、歩行者空間の快適性につがっていない。 低層の落ち着いた住宅地景観 ・幹線道路の後背地には、戸建て住宅や低層の集合住宅等が立地し、生垣や庭木の緑などが確保されているものも少なく、ゆとりのある落ち着いた住宅地景観が広がっている。</p> <p>【課題】 ヒューマンスケールな賑わいのあるまちなみ景観の形成 ・高層建築物等はほとんどみられないが、商業施設など形態意匠の統一感やまとまりが乏しく、一部の店舗では周囲から突出した鮮やかな色彩を基調としたものもみられる。 ・広告物や、建物の形態や意匠、色彩など表情を整え、歩行者にとって快適で楽しいまちなみ景観の形成が望まれる。 低層住宅の環境への配慮 ・幹線道路沿道において中高層化が一部見られ、今後も進むことが懸念される。後背地の低層住宅地との連続性やまとまり感を保つよう配慮(建物の形態、配置、緑地の設置など)が大切である。 ・あわせて、既存の緑豊かな戸建て住宅地の景観を守っていくことが必要である。</p>	  <p>との木通り</p>  <p>低層を主体とした住宅市街地</p>  <p>敷地内緑地の充実した戸建て住宅などもみられる</p>
	商業・業務系	(8)八王子駅周辺	<p>【現況】 都市の中心拠点として賑わいのある景観 ・駅北部は中高層の商業・業務施設が、駅南には4F以下の商業・業務施設、住宅が建ち並び賑わいのある景観を形成している。 ・建物の形態・意匠の統一感やまとまりが乏しく、特に駅北部の商業施設では複数の、且つデザインのバラバラな屋外広告物を外壁等に掲出するものが多くみられ、複雑な印象がある。 幹線道路の程よいスケール感 ・駅北の桑並木通りは、広幅員道路で(幅員30m)建物と道路で構成されるスケール感(D/H)は概ね1:1~1:1.5程度であり、スケール感としては程よい。 ・西放射ユーロード沿道には中低層の商業施設が建ち並びヒューマンスケールなまちなみとなっている。</p> <p>【課題】 歩きにくい、使いにくい主要な歩行者空間 ・マルベリーブリッジや放射状の歩行者専用道路は、施設と直結していない、不用意な段差、整備水準がバラバラであり、総じて歩きにくく、快適性が必要である。 ・施設が主要な歩道に向いていないものもみられ、通りとしての魅力に乏しい(特に、JR八王子から京王八王子駅の間) ・歩道上空が駐輪スペースや自動販売機、広告類で占められており、快適性に結びついていない。 ・街路樹や花壇の整備などは積極的に取り組まれているが、沿道の施設に一定の秩序がなく、緑や花が引き立っていない。 ・歩行者専用道路等多くの人々が往来する場で、小広場等整備が一部みられるが、ベンチなどのファニチャが欲しい。 ・自動車交通のゆるやかな規制など、もう少し歩車の分離や共存などの手だても必要である。 玄関口としての風格が欲しい ・特に駅北口は、他の駅前と大きな差が無く、市の歴史や文化、個性が感じられにくい。広告物(液晶のものも含む)などの不要なものの整序や、マルベリーブリッジと施設を結ぶなど、都市機能の強化とあわせ、重点的な取組が求められる。 ・現在駅南口の再開発が進められているが、駅から街に降り立ったときの印象、地域性などに配慮したデザイン等工夫が求められる。 地域の個性を彩る施設を引き立てたい ・早くから商業地として発展した地区として、花柳界の名残を残す界限、緑豊かな社寺などの歴史や文化を感じる施設を、まちなかでもっと引き立てていくことが大切。</p>	  <p>駅北口、桑並木通り(右は地元小学生による花壇)</p>  <p>駅北口の広告物の掲出の多い商業施設</p>  <p>寺社と背景に立地する中高層集合住宅</p>  <p>西放射ユーロード</p>  <p>花柳界の面影を残すまちなみ</p>  <p>駅北部の店舗の建ち並ぶ商業地域</p>  <p>駅南口の再開発と駅前広場で整備された地下駐輪場</p>   <p>駅南口の商業地域</p>

都市のビジョンや景観要素等を踏まえた類型	調査対象地区	調査結果	現況写真
都市計画マスタープラン・土地利用方針 商業・業務系	(9)甲州街道(横山町等)	<p>【現況】</p> <p>本市の中心商業業務地区として賑わいのある景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高層の商業業務ビルや集合住宅が建ち並び、多くの人々が集う賑わいのある景観が形成されている。 ・早くから商業地と栄え、戦災復興区画整理で整備された地区だが、歴史的な形態の商店（蔵造り、看板建築など）が点在しており、往時の面影を残している。 ・通りに面して低層の店舗が並び、低層部を商業系用途とする高層集合住宅の立地などもみられるが、店舗等併用ではない住宅等立地が進みつつあり、通りとしての魅力に乏しい。 ・接道部から壁面後退している建物も少なからず見受けられるが、駐輪スペースや広告物、植栽帯を設置し、歩道部と一体となった空間として利用しているものが少ない。 <p>【課題】</p> <p>通りのスケール感、連続性の欠落</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10F以上の高層集合住宅の立地が進みつつあり、建物と道路のプロポーションが崩れつつある（道路幅員22m）。 ・横山町や八幡町付近はアーケードが設置されているが（旧来からあるものや新しく設置したもの等）、建物の建て替えに伴う撤去等、部分的なものとなっている。また、間口の狭い敷地での個別建て替えによるペンシルビルの立地や駐車場化が進み、通りとしての連続性、一体感が損なわれている。 ・シンボル性のある通りとして、建物の高さ、規模、形態意匠等の表情を整え、風格ある景観を創出することが必要である。 <p>快適で楽しい歩行者空間の創出が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁面後退の不連続、後退部での駐輪場や植栽帯、広告物等が様々に設置され、歩道との一体性がなく、歩行者にとって歩きにくい。 ・街灯や道路上の設備、ファニチャーが多く、繁雑に感じられ、歩きやすさや快適性に結びついておらず、道路上の工作物等を整理し、沿道の敷地と一体となった空間の創出が求められる。 <p>往時の面影を残す資源を守り引き立てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老舗などの古くからの商店を守り、ヒューマンスケールを大切にしまちなみとして、建物低層部の形態意匠の調和に配慮（庇部や色彩、素材など）するなど、地域の資源として活かしていくことが必要。 	 <p>桑並木通り以東、明神町付近</p>  <p>JR八王子駅北部、横山町付近</p>  <p>蔵造りの老舗</p>  <p>看板建築</p>  <p>桑並木通り以西、八日町、八幡町付近</p>
	(10)高尾駅周辺	<p>【現況】</p> <p>観光拠点・地域振興拠点として賑わいのある景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅北部には、早くから立地する低層の商店が立地し、北口の駅舎とあわせて、鉄道敷設後から高尾山への観光拠点としての栄えた面影を残す商業地の景観が広がっている。 ・大規模な商業施設は少なく、北部の多摩御陵等の緑が眺められるなど、風情のある景観がみられる。 ・駅南部は、昭和40年代の京王線開通に伴う基盤整備、宅地開発等によって大規模な商業施設や中高層集合住宅が立地し、地域の暮らしを支える拠点地区としての性格が強い。 <p>【課題】</p> <p>観光拠点としてのまちの顔づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅北部は、甲州街道のイチョウ並木など周囲の景観資源やシンボル性のある地区とのつながりが感じにくい。 ・歴史的な趣を基調として、広告物や建物の形態意匠を整え、地域性を表現していくことが必要である。 <p>暮らしを支える快適性の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丘陵地に近い位置で駅周辺からは山並みや丘陵地を眺めることができ、これらに配慮しつつ、通りに面して緑化を促進するなど、快適な歩行者空間づくりに努めることが必要である。 	 <p>高尾駅北口</p>  <p>高尾駅南口</p>  
	(11)京王堀之内駅周辺	<p>【現況】</p> <p>地区の拠点となる商業景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前に大規模な商業施設が立地するが、周囲は低層の商業施設や戸建て住宅、中高層集合住宅が混在する地区住民の生活サービスを支える地区で、駅前商業施設からは多摩丘陵地をはじめ周囲の山並み・市街地を見渡することができる。 ・近年周辺で大規模な高層集合住宅の建設が進みつつあり、駅から眺める景観が大きく変化しつつある。 <p>【課題】</p> <p>まちの顔として、地域の個性を引き立てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前のファニチャーや周辺施設のデザインに統一性がなく、駅北部の低層の商業・住宅、南部の中高層集合住宅地など、個性あるまちなみとして整えていくことが必要である。 ・広い歩道空間であり、街路樹やベンチ等憩える場の整備がほしい。 	 <p>京王堀之内駅前</p>  <p>多摩丘陵地等への見晴らし</p>  <p>建設中の高層集合住宅</p>

都市のビジョンや景観要素等を踏まえた類型		調査対象地区	調査結果	現況写真
都市計画マスタープラン・土地利用方針	商業・業務系	(12)八王子みなみ野駅周辺	<p>【現況】</p> <p>新しく整備された商業業務サービスが集積する地域振興拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八王子ニュータウン建設に伴い平成9年に開設した駅で、大規模な商業・業務施設や中高層の集合住宅が立地する整った市街地景観がみられる。 ・主要道路沿道の一部には、各施設の接道部に高木や植栽帯とともに、駐輪スペースに植栽を施すなどの工夫がみられ、潤いある快適な歩行者空間が形成されている。 ・商業施設の屋外広告物は壁面に掲出される場合が多く、複数の広告を集約するなどの配慮もみられる、 <p>【課題】</p> <p>地域の顔として風格あるまちなみに整えることが必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなみを構成するものの大半が大規模な施設であり、それぞれのデザインや接道部の設え等がまちなみに大きな影響を及ぼしている。ゆとりのある歩行者空間、植栽等整備されているが、周辺に立地する建物のデザインが整っておらず、まちとしての秩序が感じられない。 ・駅前には地形的な条件上デッキとなっており、緑地が少ない。植栽等緑化を進めるなど、駅前の快適空間づくりにつなげていくことが望ましい。 	 <p>八王子みなみの駅</p>   <p>駅周辺に立地する大規模な商業施設、集合住宅</p>  <p>駅前の商業施設</p>  <p>商業施設内の緑化された駐輪場</p>
		(13)北八王子駅周辺	<p>【現況】</p> <p>大規模工場が集積する産業拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業団地として整備された地区で、中低層の工業・流通施設と3F以下の戸建て住宅や集合住宅が混在した整然とした市街地景観が広がっている。 ・整備された当時の街路樹や工場地内の樹木等が大きく育ち、緑に囲まれたまちなみの景観をつくり出している。 <p>【課題】</p> <p>地域の生活環境に配慮したまちなみの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立地する工業施設の接道部に高木や植栽帯の設置等緑化されているが、一部にはフェンスや無機質なコンクリート塀等がみられ、周辺の住宅地景観との調和やオープンスペースの確保等地域への開放性などの配慮が求められる。 ・大型車輛の往来が多い一方で、歩道が狭い場所があり、駅と住宅地を結ぶ快適な歩行者空間の創出が必要である。 	 <p>北八王子駅前</p>   <p>工業地の集積するまちなみ</p>
	工業系	(14)東浅川工業団地及び周辺地区	<p>【現況】</p> <p>大規模な工業集積地と隣接する住宅地景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業団地として整備された地区で、広幅員道路と大規模な中層の工業施設が立地し、整然とした広々とした市街地の景観が広がっている。 ・大規模な工業集積地に隣接して、戸建て住宅や中高層の集合住宅が立地しており、工業施設が中層で敷地内緑化等が行われており、まちなみとしてのスケール感は比較的まとまっている。 ・近年は幹線道路沿道には大型商業施設の立地や、工業施設の土地利用転換に伴う大規模な高層集合住宅の立地などがみられ、大規模な広告物の掲出や長大な壁面の建物など、地域のまとまりが損なわれつつある。 <p>【課題】</p> <p>住工の共存する地域として住宅地景観への影響を抑える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業地の敷地内や接道部に植栽等緑化を進め、地域の潤いや開放性を高めていくことが求められる。 ・産業構造の変換に伴う土地利用転換などに対応し、高層集合住宅の抑制など、既存の中低層の住宅地景観を阻害しないようにコントロールしていくことが必要である。 <p>住宅地景観を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸建て住宅や中高層集合住宅が混在する中、建物の意匠や色彩に統一感を持たせたり、接道部の生垣や植栽帯等緑化に努め、まちなみとしてのまとまりや一体感を創出することが必要である。 	 <p>敷地内に緑地が配された工業地</p>  <p>沿道に立地する商業施設、広告物</p>  <p>工業地に隣接する住宅地</p>   <p>大規模な集合住宅</p>

都市のビジョンや景観要素等を踏まえた類型	調査対象地区	調査結果	現況写真
都市計画マスタープラン・土地利用方針	工業系	<p>【現況】</p> <p>緑に囲まれた広域交通の結節点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路沿道は、流通関連施設や商業、娯楽施設等複合的な土地利用が進んでいるものの、中低層の建物が多く、周囲には丘陵地の斜面緑地や北部の広がりのある農地などが望見でき、開放的な自然的景観がみられる。 ・市街地を結ぶ道路は緑化ブロックのよう壁や植栽帯等整備され、緑が充実した道路景観がみられる。 <p>【課題】</p> <p>地域性に配慮した沿道景観の整序</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿道に立地する商業、娯楽施設等の外壁の色彩について、一部、周囲から突出した鮮やかな色彩を基調としたものがみられる。 ・大規模な広告板・広告塔や、建物壁面に大きく掲出するものなどが目立ち、周囲や後背地に広がる緑地との調和に配慮し、都市への広域的な玄関口として魅力づくりにつなげていくことが必要である。 ・敷地内の既存樹木を残した商業施設など、既存の緑地をうまく活かした施設もあり、こうした取り組みを広げていくことが望ましい。 	   <p>I.C.付近の沿道景観</p>   <p>緑化されたよう壁</p> <p>樹木を配した駐車場</p>
自然系	(16)上恩方町 (沿道集落地)	<p>【現況】</p> <p>背後の山並み・里山のみどりが一体となったのどかな谷戸の集落地景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山林・山並みを背景に、河川や農地など自然的環境が豊富で、みどり豊かな自然景観が広がっている。 ・石積み、長屋門など、往時の面影を残す建造物がよく残っており、周囲の山並みや里山のみどりと一体となった安らぎと落ち着きのある集落地の景観が広がっている。 <p>【課題】</p> <p>自然と一体となった集落地の景観の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な建造物が多数みられ、自然と一体となった趣のあるまちなみ景観を守るためにも、これらの保全を図ることが必要である。 ・地域内には文化財などが点在しているが、案内やアクセス性・視認性の向上など、地域の資源として守り活かしていくことが必要である。 ・道路上に設置されたガードレール・ガードパイプ等統一感に乏しく、自然景観に配慮したデザインに整えることが求められる。 	     <p>自然に囲まれた集落地景観</p>
自然系	(17)高月町 (自然緑地、農地)	<p>【現況】</p> <p>広大な田園地帯が広がるのどかな農業景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多摩川沿いに田園地帯が広がり、背景の山並みと一体となった自然景観が広がっている。 ・隣接する農業集落には、歴史的な建造物(土蔵など)や、敷地内の巨木等、往時の面影を残す落ち着いた景観がみられる。 <p>丘陵地を越える緑に囲まれた峠道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加住丘陵地を越える峠の道は緑に囲まれ、石積みよう壁とあわせて自然豊かな道路景観が形成されている。 ・一部、沿道に資材置き場等が立地し、目隠しとなっているバリケードが周囲の緑に調和していないものがみられる。 <p>【課題】</p> <p>周囲を取り囲む山並み・丘陵地の緑との一体的な景観を守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田園地帯に隣接して山麓部を走る幹線道路沿道には、産廃処理場や大規模な広告物(広告塔)の立地が目立ち、峠道沿道に隣接する産廃処理場等も含めて、施設の形態や意匠の調和、樹木による修景など、自然景観との一体性への配慮が必要である。 ・歴史性が感じられる農業集落地について、生活環境や営農環境に配慮しつつ、歴史的な環境を守りつつ、地域の個性として活かしていくことが求められる。 	   <p>田園風景</p> <p>農業集落</p> <p>幹線道路沿道の広告物等</p>    <p>加住丘陵地内の峠道</p> <p>峠道沿道に立地する産廃処理場等</p>

都市のビジョンや景観要素等を踏まえた類型	調査対象地区	調査結果	現況写真
都市計画マスタープラン・土地利用方針	自然系	<p>【現況】</p> <p>都市のシンボルとなる潤い豊かな自然景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市内を横断し、広がりのある河川で、河川敷にはサイクリングロードや広場等が整備され、市民に親しまれる潤いのある自然景観が広がっている。 ・上流部には、自然の岩場や植生が維持されており、陵北大橋からは周囲の山並みが広がり、雄大な自然景観が広がっている。 <p>【課題】</p> <p>雄大な自然景観を楽しむための眺望の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の中心部から河口部にかけて（元横山町、大和田町等）大規模な高層集合住宅が立地し、橋や河川沿いの道路からの眺めの中で目立つ存在となっている。 ・沿川部の建物高さの抑制や、建物や工作物等の形態、意匠、色彩等、自然景観に配慮したものとし、河川の自然景観と一体的にみられることに配慮した工夫が求められる。 <p>河川沿いの眺望を楽しむ快適な歩行者空間の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浅川沿川部の道路（管理用道路）は、歩行者空間が狭く、自動車の通過交通も多いため、自然景観を楽しむためにも安全で快適な歩行者空間の確保が必要である。 	<p>浅川沿いの道路</p>  <p>浅川の眺めと高層集合住宅</p>    <p>陵北大橋からの眺め</p>
	(19)谷地川、大栗川（浅川とは流域の異なる主要河川）	<p>【現況】</p> <p>地域内の潤いある水辺景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市北部を横断する谷地川や多摩ニュータウン内を流れる大栗川は、地域に潤いをもたらす水辺景観で、沿川部には遊歩道が整備されるなど、地域に親しまれた自然景観を形成している。 <p>【課題】</p> <p>親水性の確保や自然景観としての再生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これらの大半は、無機質なコンクリート護岸で整備されており、整備された遊歩道の緑地と一体となった潤いのある水辺景観としての再生・活用が求められる。 	<p>大栗川</p>  <p>谷地川(道の駅八王子滝山付近)</p> 
	(20)滝山公園（城跡）	<p>【現況】</p> <p>自然豊かな眺望が楽しめる城跡を活かした公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山城である城跡（国指定史跡）を活かした公園として整備され、山頂（城跡）から北部多摩川への眺望が開けており、自然豊かな風景を楽しむことができる。 <p>【課題】</p> <p>眺望を楽しむ場としての活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・眺望が開けている場所の樹木が伐採され、眺望の場としての整備がなされている。 ・公園の入口部分の案内やアクセス路がわかりにくく、良好な景観資源として活かしていくことが求められる。 	<p>城跡への入口（ハイキングコース入口）</p>  <p>城跡から多摩川方面への眺望</p> 

都市のビジョンや景観要素等を踏まえた類型	調査対象地区	調査結果	現況写真
緑の整備・保全の方針 歴史系	(21)高尾山口駅周辺 (高尾山口駅～高尾山ケーブルカー駅前参道)	<p>【現況】</p> <p>和風造りの商店が建ち並び賑わいと風情のある参道の景観</p> <ul style="list-style-type: none"> 高尾山ケーブルカー駅前の参道は、高尾山への玄関口として多くの観光客が集う地区であり、主に2階建てで和式建築の形態意匠の建物が建ち並び、また、通りに面して茶店風のベンチや植栽を設置しているものなどもみられ、高尾山の雰囲気と調和した趣のある景観が形成されている。 参道の建物のスケール感や形態意匠は比較的まとまっており、心地よい賑わいのある景観が形成されている。 <p>高尾山口駅前から参道にかけての自然豊かな潤いのある河川景観</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅からケーブルカー駅前への歩行者通路は案内川沿いに整備されており、緑と水の豊かな歩いて心地よい景観が形成されている。 <p>【課題】</p> <p>高尾山への玄関口として風格ある景観の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> 高尾山口駅前の甲州街道沿道には、大規模な娯楽施設等が立地し、高尾山への玄関口として、そのイメージを高める景観づくりに向けて、施設の形態意匠の整序、修景が必要である。 駅前の施設や広告物など、周囲の自然景観から突出した高彩度のももみられ、シンボル性のある地区への玄関口としてふさわしい落ち着いたものへと整えることが求められる。 高尾山参道の歴史的な環境に配慮した和風のまちなみを守り活かしていく 参道のイメージを基本とした和風のデザインの建物が建ち並び中、一部、近代的な施設の立地がみられ、形態意匠等まとまりのあるものに整えていくことが必要である。 観光案内用の広告物やサインなどが多く、繁雑な印象がある。不要なものの撤去や広告物の大きさを抑えるなど、地区の印象を高め、快適な空間として整えることが必要である。 	 <p>参道のまちなみ</p>  <p>高尾山口駅から参道に向かう通りと案内川</p>  <p>高尾山口駅前に位置する甲州街道沿道</p> 
	(22)旧甲州街道	<p>【現況】</p> <p>黒塀の並ぶ往時の面影を残すまちなみ景観</p> <ul style="list-style-type: none"> 黒塀と木造低層建物が建ち並び、敷地内の緑が塀越しにみえるとともに、背後の山並みが広がり、潤いと落ち着きのある往時の面影を印象づける歴史的な景観が形成されている。 比較的広い通りで、玉石積みの水路や既存樹木が残り、歩いて心地よい潤いのある景観が広がっている。 漆喰塀やブロック塀を設置しているものもみられるが、塀の高さは旧来の黒塀とほぼ同じ高さで、その背後に見える母屋の屋根形状など旧来の形状を踏襲しているものも少なくなく、ゆとりの感じられる歴史的な景観が広がっている。 <p>【課題】</p> <p>歴史的な環境を活かしたまちなみ景観の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 通り沿いで小規模な戸建て住宅や3F集合住宅の立地が進みつつあり、塀を設置せず、壁面が接道部にせまっていたり、駐車場の設置など、歴史的な趣のある一体的なまちなみが損なわれつつある。 伝統的な形態を残す建物を基調として、建物の高さや規模を抑え、接道部の歴史的な形態意匠を継承した設えの工夫など、地区の個性を守り活かし、歴史的なまちなみとして連続性、一体感のある景観に誘導していくことが必要である。 	 <p>黒塀の建ち並ぶまちなみ</p>  <p>黒塀と玉石積みの水路</p>  <p>通り沿いのミニ開発、集合住宅</p>
	(23)鍮水、絹の道	<p>【現況】</p> <p>のどかな里山が広がる自然と歴史的環境が一体となった景観</p> <ul style="list-style-type: none"> 市指定文化財である絹の道は、往時の形態をよく残しており、山林に囲まれた潤いのある景観が広がっている。 周辺には農地と山林が広がり、のどかでやすらぎのある里山の景観が広がっている。 また、往時の農家である小泉家屋敷（文化財）が立地し、背後の山並みと一体となった往時を偲ばせる歴史的な景観がみられる。 <p>【課題】</p> <p>里山や歴史的な景観の保全とこれに配慮した施設の整序、修景</p> <ul style="list-style-type: none"> 絹の道の入口や、里山の広がる地区内には、産廃処理場など立地がみられ、周囲の自然・歴史的な景観に配慮した修景や、開発のコントロール等が求められる。 特に地域のシンボルとなる歴史的環境については、これらを引き立てるよう周辺地区での配慮や工夫が必要である。 	 <p>絹の道</p>  <p>小泉家屋敷</p>  <p>絹の道入口</p>  <p>里山と沿道に立地する産廃処理場</p>

都市のビジョンや景観要素等を踏まえた類型		調査対象地区	調査結果	現況写真
その他	沿道系	(24)甲州街道（追分交差点～高尾駅周辺～圏央道八王子南I.C.周辺）	<p>【現況】 イチョウ並木の風格ある街路景観 ・追分交差点から高尾駅までは、大きく育ったイチョウ並木があり、都市のシンボルとなる街路景観を形成している。 ・また、高尾駅周辺の沿道では中低層の住宅や商業・業務施設が建ち並び、追分交差点付近では10F以上の高層集合住宅の立地が目立つ。 ・高尾駅から高尾山・神奈川県方面への通りは、並木はないものの、山並みに囲まれた緑豊かなうらおいのある街路景観を形成している。</p> <p>【課題】 イチョウ並木を基調とした街路景観を整える ・沿道の建物の形態や規模に秩序がなく、大きく育ったイチョウ並木が引き立っておらず、並木を基調とした形態、規模等のルールを設け、並木と一体となったまちなみに整えることが必要である。 ・特に追分交差点付近に立地する高層集合住宅は、イチョウ並木の背後にそびえたち、都市のシンボル性への配慮が求められる。 沿道の広告物や施設の整序 ・町田街道との交差点部には大規模な広告板・広告物が掲出されており、交通の結節点として、また地域のイメージに配慮して、広告物の数や規模を抑えるなどの整序が必要である。 ・高尾駅から神奈川県方面の沿道には大規模な宿泊施設や商業施設、広告板、広告塔が多く立地し、これらを集約化、修景等を行い、周辺の山並みとの調和に配慮することが求められる。 ・今後圏央道のインターチェンジができることから、広域交通の拠点となるエリアであり、地域性を表現するよう、沿道景観を整えていくことが必要である。</p>	    <p>追分交差点付近</p> <p>高尾駅付近</p> <p>町田街道との交差点</p> <p>神奈川県方面にのびる沿道での宿泊施設の立地</p>
		(25)秋川街道	<p>【現況】 住商が混在する街道筋の景観 ・北部では、周辺に農地や山並みが広がり、のどかな道路景観が広がっており、周辺には農業集落や低層の住宅地が広がっている。 ・近年、榎原町付近での大型商業施設の立地が進み、建物の規模や形態、色彩が繁雑としており、加えて大規模な屋外広告物の掲出が目立つ。</p> <p>【課題】 周辺の住宅地景観に配慮した沿道景観の整序 ・沿道に立地する商業施設等の後背地には低層の住宅を主とした住宅地が広がっており、住宅地との環境的な調和や、まちなみとしての連続性等に配慮して、建物の形態、色彩や広告物等の整序が必要である。 快適な歩行者空間の創出 ・自動車交通の通行量が多い一方で、歩行者空間が狭い。沿道の商業地など周辺の住宅地からの利用者も多く、接道部のオープンスペースの確保など、歩行者の快適性への配慮が求められる。</p>	    <p>周辺に広がる山並み</p> <p>沿道に立地する商業系施設</p>
		(26)多摩ニュータウン通り	<p>【現況】 大規模な商業施設の集積する住商混在の沿道景観 ・道路は街路樹や中央遮断帯の緑地など、緑豊かな環境として整備されており、歩行者道路も広くゆとりがあり、周囲の山並み・丘陵地を見晴らすことができる。 ・郊外型の大規模な商業施設の立地が多くみられる中、低層の住宅や高層集合住宅が混在する市街地景観が広がっている。</p> <p>【課題】 沿道の建物や広告物の整序 ・道路上は街路樹や植栽帯など緑地整備が充実しているが、沿道の建物に秩序が無く、緑が引き立っていない。 ・沿道の建物や屋外広告物の規模や形態、意匠などを整え、一定の秩序の中で、まちなみの表情を創出していくことが求められる。 ・接道部に緑化を行っている施設もみられるが、壁面後退を行わず施設が立地していたり、通りに面して店舗の入口を配置していないなど、通りの景観としてのまとまり、連続性が乏しい。 ・自動車利用者だけでなく、歩行者・自転車利用者にも配慮し、接道部でのオープンスペースや緑地の確保等、快適な道路空間の創出が求められる。</p>	    <p>多摩ニュータウン通りのまちなみ</p> <p>緑が充実した道路空間と沿道建物の接道部</p>

2. 景観市民懇談会での主な意見

【中央地域】

開催日時：平成 21 年 7 月 15 日（水） 19:00～21:00

開催場所：クリエイトホール

参加者数：8 人



まちなかに緑を増やし、潤いのある景観をつくりたい

- ・街路樹を増やす、つなげる
- ・民有地（敷地、建物、フェンス等）の緑化推進
- ・地域のシンボルとなっている緑を残す（山田邸の緑、極楽寺の緑）
- ・緑の管理が大切（見通しが悪くなって、防犯上の問題が生じている）

シンボルとしての浅川をもっと快適な空間にしたい

- ・ゆっくり、のんびりと歩ける空間にしたい
- ・浅川の桜並木を残す、つなげる
- ・富士山への眺望、見晴らし
- ・工場跡地のマンションは異質である。高さの制限などが必要ではないか
- ・できれば高木をもっと増やしたい

八王子駅周辺は歩いて楽しく、快適な歩行者空間にしたい

- ・せっかくの彫刻やパブリックアートが活かされていない
- ・照明やサイン、ファニチャがピカピカしている。つや消しとするなどの工夫が必要
- ・ユーロードはせっかくの歩行者専用道路だが、車優先の交差点処理、信号となっているし、必要以上の段差があって歩きにくい（歩きたくない）
- ・ペデの先に排気筒があって、浅川方面の眺めが阻害されている。排気筒に着いているオブジェは不要。
- ・遊戯施設の過剰な広告物が気になる。

- ・八王子は眺めがよいまちであり、みどりとの関係を重視した建物等の色を推奨してはどうか 色を揃えた方がよい

全体として

- ・バリアフリーや福祉のまちづくり、散歩がしやすいまち
- ・巡回バスなど観光として地域を巡る交通機関がほしい
- ・まちの情報が少ない、市民でも住んでいる地域以外は知らないことが多い
- ・いろいろなものがあるのはわかるが行きにくい（交通の便）

【北部地域】

開催日時：平成 21 年 7 月 16 日（木） 19:00～21:00

開催場所：加住市民センター

参加者数：11 人



河川や山林など豊かな自然を残し、安らぎのある景観を守りたい

- ・緑豊かで貴重な植生などが残っている 貴重な動植物の生息地として
- ・静かな自然がよい
- ・自然の緑や水辺の管理（手入れ）を計画的に行う 管理が大切（近づきにくくなっている）
- ・河川沿いに遊歩道があるが、管理が不十分で歩きにくい（谷地川、多摩川）

- ・山が浅いため、開発地や残土処理地などが目立つ。安全性の意味でも開発を抑えた方がよい

- ・里山の美しい景観、のどかな雰囲気を残していくべき

- ・谷地川の河川は綺麗だが、川沿いを歩いて楽しめる空間にしたい（植生の管理、遊歩道のバリアフリー対策）

歴史のあるまちとして、快適な場所として活かす

- ・城跡公園周辺には落ち着いた散歩道があり、うまく活用していくべき
- ・滝山上の城下町としての歴史を大切にする
- ・眺めがよい 本丸などもう少し植栽を伐採した方がよく見える

まちなかの緑を守り、増やしていきたい 安らぎのある景観をつくりたい

- ・丘陵地にある農地を大切に守る（資材置き場や駐車場が増えすぎ）
- ・街路樹や植栽がもっとあった方がよい

- ・八王子 I.C. 周辺は、看板が少ないのはすっきりしていて良いが、植栽があるだけでうまく活かされていない
- ・周辺には農地が広がっており、大切な景観として残していくべき

【西部地域】

開催日時：平成 21 年 7 月 17 日（金） 19:00～21:00

開催場所：川口市民センター

参加者数：4 人



自然豊かな水辺空間を守り、憩いの場として活用していきたい

- ・昔のような水の豊かな自然の場として再生したい
- ・土手のスペースをうまく活かした自然環境としての再生が必要
- ・山並みや広がりのある農地など、眺めが良い
- ・貴重な動植物の生息する自然環境として守っていききたい
- ・浅川沿いの眺め、橋からの眺め、見晴らし 特に岩場のある自然の景観がよい

- ・河川沿いの植栽の管理など、行政に任せるのではなく地元で管理したい

山並みに囲まれたのどかな集落地の景観を大切にしたい 恩方

- ・山並みに入っていく眺めが昔ながらの雰囲気が残っている
- ・道の雰囲気がよい
- ・夕やけ小やけの歌の景色通り のどかな風景

道路沿いの景観を整えたい

- ・中央通り沿いのよう壁の設えを整えるべき（植栽やビニールシートなどばらばら）
- ・沿道のばらばらな建物のデザイン まちなみが汚く感じる

- ・道路が狭く歩きにくい。山並みや河川など歩いて良いところがいくつもあり、ハイキングコースなどつなげていくことが大切

地形的にも起伏に富んでおり、眺望や見晴らしがよい 様々な表情がみられる

遠く富士山まで眺められる場所がある（浅川 松枝橋）

- ・八王子城跡からの市街地への眺めがよい
- ・散歩道など 城跡へのアプローチ道路が整備されていて快適。もう少し緑がつながっているとより良くなるのだが

【西南部地域】

開催日時：平成 21 年 7 月 22 日（水） 19:00～21:00

開催場所：浅川市民センター

参加者数：19 人



旧甲州街道の趣のある景観を大切にしたい

- ・個々の庭木があって、まちなみの雰囲気がよい
- ・歩道と河川沿いの遊歩道がもう少しうまくつながっていると良いが
- ・電線の地中化、黒堀の保全などに取り組んで まちなみの雰囲気を大切に保全していくべき
- ・高尾山北部（裏高尾）の先の梅林などあって自然と歴史の趣のある景観を大切にしたい
- ・八王子城跡への裏街道で、自然の雰囲気があってよい

山並みからの眺望 眺望を楽しみながら散歩できるレクリエーションの場として活用したい

- ・市の境界 陣馬山から高尾山にかけて 眺望に優れた場所

街道筋を取り囲む丘陵地からの眺めを大切に 眺望が楽しめる場所としたい

- ・丘陵地の尾根筋からの眺めがよい
- ・自然に囲まれた小さな山道が多く、日頃散歩道としてよく利用している

豊かな並木を活かした風格ある通りの景観をつくりたい 通りの景観

甲州街道を風格あるものとしたい

- ・イチョウ並木が立派で誇らしいが、低木の植え込みの管理がうまくなされていない
- ・電線の地中化など

多摩御陵のケヤキ並木は大切な景観

高尾駅北の趣のある景観を活かしつつ、快適に歩ける空間にしたい

- ・安全に歩ける歩行者空間が不足 駅舎と駅前の商店の雰囲気は残していきたい

高尾山の自然と歴史を活かしていきたい

- ・谷筋をとる道にはいくつもの橋があり、昔からの名前を残していきたい
- ・観光客が多くなったのはよいが、マナーがわるい ゴミ問題など
- ・参道のまちなみを整えるルールが必要

小規模な河川でも、自然の景観として守り活かしていきたい

- ・湯殿川の緑や水のせせらぎなど、風情と木陰を残してほしい
- ・河川護岸は自然環境の回復を

南浅川 川沿いの桜並木を守り、レクリエーションの場として活かしていく

川沿いの遊歩道の緑を残し、つないでいき、快適に歩けるようつながりを持たせたい
河川や水路のゴミ問題

鉄道沿線の配慮

- ・めじろ台駅周辺のフェンスが 景観に配慮したデザイン 地元と話し合って決めたい
安全と景観に配慮した工夫がなされており、他の場所でもこういうことを考えてほしい

【東南部地域】

開催日時：平成 21 年 7 月 23 日（木） 19:00～21:00

開催場所：北野市民センター

参加者数：5 人



- 自然と歴史の一体となった景観を大切にしたい
- ・片倉城跡公園と湯殿川の水辺が一体となった景観となるよう、フェンスの設置など配慮すべき
- ・川の親水性を高めたい 水辺の感じられる場所として 潤いのある景観としたい
- ・公園や水辺に近づけない もう少しこれらの場所がまちと連続しているべき 活かされていない
- 地形的な特徴を活かした眺望の楽しめるまちにした
- ・北野台団地や絹ヶ丘団地の際 多摩丘陵地から市街地の眺め 見晴らしがよい
- ・丘陵地内には通路をつないで、眺望を楽しみながら歩ける場所にすべき
- ・住宅団地を取り囲む山並みを大切に
- ・住宅開発に伴う造成後の丘陵地から市街地が一望でき、こうした眺望の場を楽しめるものとしてい
- 丘陵地内には散策路がいくつもあって 眺望が楽しめるが、資材置き場が多く、傾斜地でのマンション建設など、眺望が損なわれることが懸念される
- 高さが異なるマンションが多くみられ、美しく感じない 高さを低く抑えて、揃っているとよい
- 見晴らしの良い場所は、樹木の剪定など眺めを楽しめるよう工夫すべき
- まち全体の谷戸の面影を残す景観を守っていききたい
- ・造成後の緑地、地形を残し、かつての多摩丘陵地の面影を大切にしたい
- 丘陵地内での残土業者が多く、自然環境の落ち着いた雰囲気が損なわれる
- ・長沼駅周辺の水路や水田地帯は 往時の面影が良く残っており、大切に守っていききたい
- 駅周辺の通りを魅力あるものとしてい
- ・北野駅前通りでの植栽を施すなど、通りの見通しをより良いものとするべき
- ・建物の高さなど 地区計画等のルールで揃えるよう 整えていくべき
- ・みなみ野駅前に緑がほしい 緑豊かな潤いある景観にしていくこと
- 全体として 公園が多くて潤いのある環境だが、子供がふれられない環境が多すぎる
- ・幹線道路沿いのパチンコ屋の照明が明るすぎる（安全のための明るさ、というのは良くても・・・）

【東部地域】

開催日時：平成 21 年 7 月 24 日（金） 19:00～21:00

開催場所：由木中央市民センター

参加者数：3 人



- 眺望が楽しめるまち 丘陵地を守りたい
- ・多摩丘陵地から市街地への眺望、見晴らし
- ・眺望に配慮して植樹の管理をしてほしい（樹木が大きくなって眺めが遮られる、眺める場所がない）
- ・丘陵地内の山道、神社への参道など 趣のある環境
- 豊かな里山の景観を大切にしたい
- ・大栗川以北の里山は、のどかな景観、自然も豊かで大切にしていきたい
- ・市街地から山並み・山林が見えるように、建物の高さ制限を考えるべき
- 丘陵地からの眺めにも高層の建物が影響を及ぼしている 制限をしてほしい
- ・残された谷戸の景観を大切にすべき 湧水、里山など
- ・丘陵地での資材置き場など、目立たないようにすべき、廃棄物処理場など場所を考えて 開発が進む中、湧水の水が減少しつつあるのが残念
- ・多摩ニュータウン通りの看板の乱立がよくない。看板の数が多すぎて景観として良くない（大きさは制限できるだろうが、数は制限できないか？）
- ・モノレールからの風景は良い感じ
- ・丘陵地からニュータウンの夜景がよく見える 背景の緑とのバランス コントラストがとれていて良い雰囲気（山並みが暗くて夜景が引き立てられる）
- ・ニュータウン内は公園が多く、管理されているところは潤いがある安らげる 良い景観
- まちなかに緑が多くて潤いのある整った景観がよい ただ管理されていない（きちんと手入れされていない）
- 公園・緑地の管理 手入れをきちんとすべき
- 大規模施設 公的施設内の緑
- ・首都大学はキャンパス内に緑が多く残っていて良い景観

【景観市民懇談会開催に関する主な意見】

意見の概要

多くの方が作業を簡単と受け止め、作業時間もちょうど良いとする人が多かったが、時間を多くして欲しいとの声も見られた。
意見交換の場の創出、新旧住民の意見交換などを評価する声が聞かれ、景観セミナーでの知識が参考になったとの声も見られた。
懇談会体制について、参加人数・参加者属性、作業構成の構築・事前周知などについて改善の余地があるとの声が聞かれた。

懇談会全般・感想

- ・意見交換ができて良かった。景観セミナーの受講内容が参考になった。
- ・新参者にとって、古くから住んでいる方のお話はそれなりに説得力があった。
- ・今日名前の上がった場所にあらためて見てきたいと思います。
- ・今後に必ず活かして下さい。お蔵入りさせないようにして。
- ・時間をかけて（四季を通じて）検討し、結果をまとめると良いと思います。
- ・発言者に女性も入れ、各階層から発言者を求めて下さい。
- ・参加人数が少なく、もっと多くの方が参加するような方法を考えて下さい。
- ・作業の手順をもう少しシステム化しておいて欲しかった。
- ・範囲が広すぎる感じがします。討議をしぼって。討議を深める要有り。
- ・事前に具体的な懇談内容について知らせて欲しかった。そのような目で事前に留意しておく。

中央地域

- ・八王子の中心は浅川で、これを中心に景観も考えていきたい。
- ・失われた緑は戻せませんから大切にしておく方法を考えてい。
- ・緑と安全（誘拐など）の問題もあわせて考えなければならない。
- ・私有物であっても市民から見て市民の見境という機会があっても良いのではないか。
- ・各名所に基地を作ってレンタサイクルを市で行えば、もっと市が近くなるのではないか。
- ・市民に納得し（理解し）ていただけるコミュニケーションを取れる仕組みを作る。

北部地域

- ・自然の放置でなく、手入れが必要である。
- ・緑の大切さを!!

西部地域

- ・道路がせまいことも景観が悪くなる。
- ・山、自然を背景を活かした都市計画が出来ると良い環境の町になると思います。

南西部地域

- ・観光的な意見が多かったが、もっと身近な問題を検討したかった。
- ・2000年に撮影した自然も、僅か9年経た現在、大きく変わった所もある。より肌目細かい景観（自然）管理が必要。
- ・道や川はまっすぐ通りやすくするというのは車社会の発端なので、必要な工事以外は出来るだけ自然のラインを残して整備して欲しい。狭い道の方が人は歩きやすいことも。
- ・浅川地区（高尾）には観光的景観が多い地区で、まだまだ埋もれている資源がある。PRして観光客に知らせていくことも必要である。
- ・素晴らしい景観が多くあるが、それらを保持するために、ゴミを街・川からなくしていく努力が必要である。
- ・ゴミ集積所をきれいにして欲しい。
- ・高所からのながめは、極端な伐採でなければ取ると良い。
- ・国、都、市が共同で実行する必要がある。

東南部地域

- ・今年旧陣馬山に行きましたが、中央線藤野駅からでした。八王子の山という意識は余りなく、ガイド本でもすぐ分からなかったせいか市外から登ったこととなります。市内からの交通の便など広く親しまれるような案内などもあればよいと思います。
- ・景観ゾーンを指定し乱開発を防止したい。

東部地域

- ・農業をされている方からのご意見が直接伺うことができ、とても良かった。